

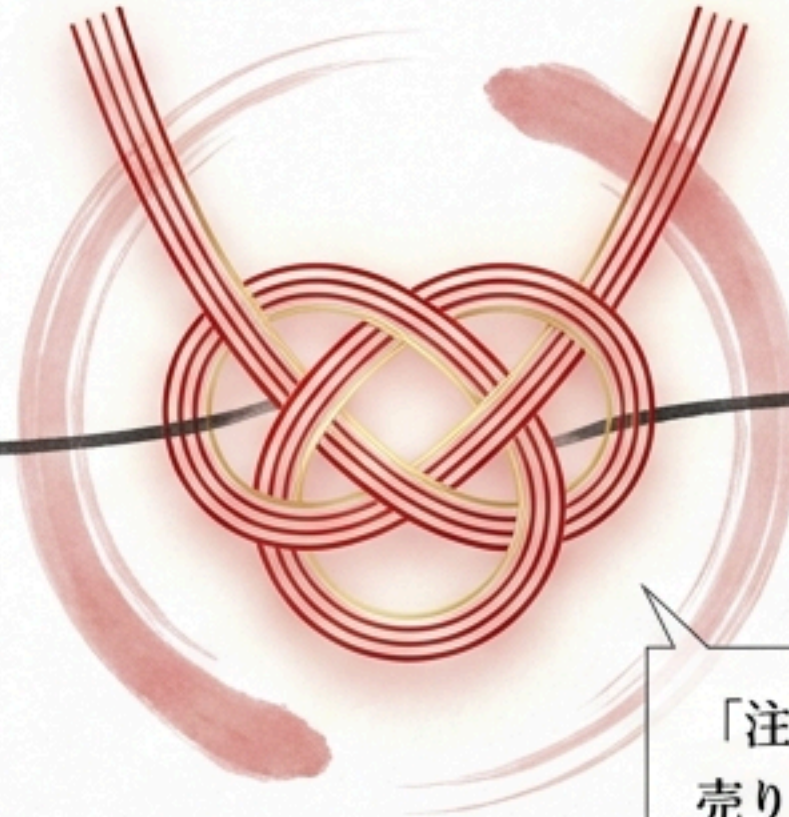


約定という結び

成立するものだけが現実になる | TAOISM

約定とは何か。

需要 (Demand / Buy)



供給 (Supply / Sell)

「注文」や「思惑」は現実ではない。
売りと買いが一致し、需要と供給が接触した状態。
それが「結び」である。

TAOISMでは、金融やビジネスにおける約定を単なる取引ではなく「結び」と捉えます。
一致したときだけ、それは現実になります。ここに本質があります。

どれだけ準備しても、
結ばれなければ現実にはならない。

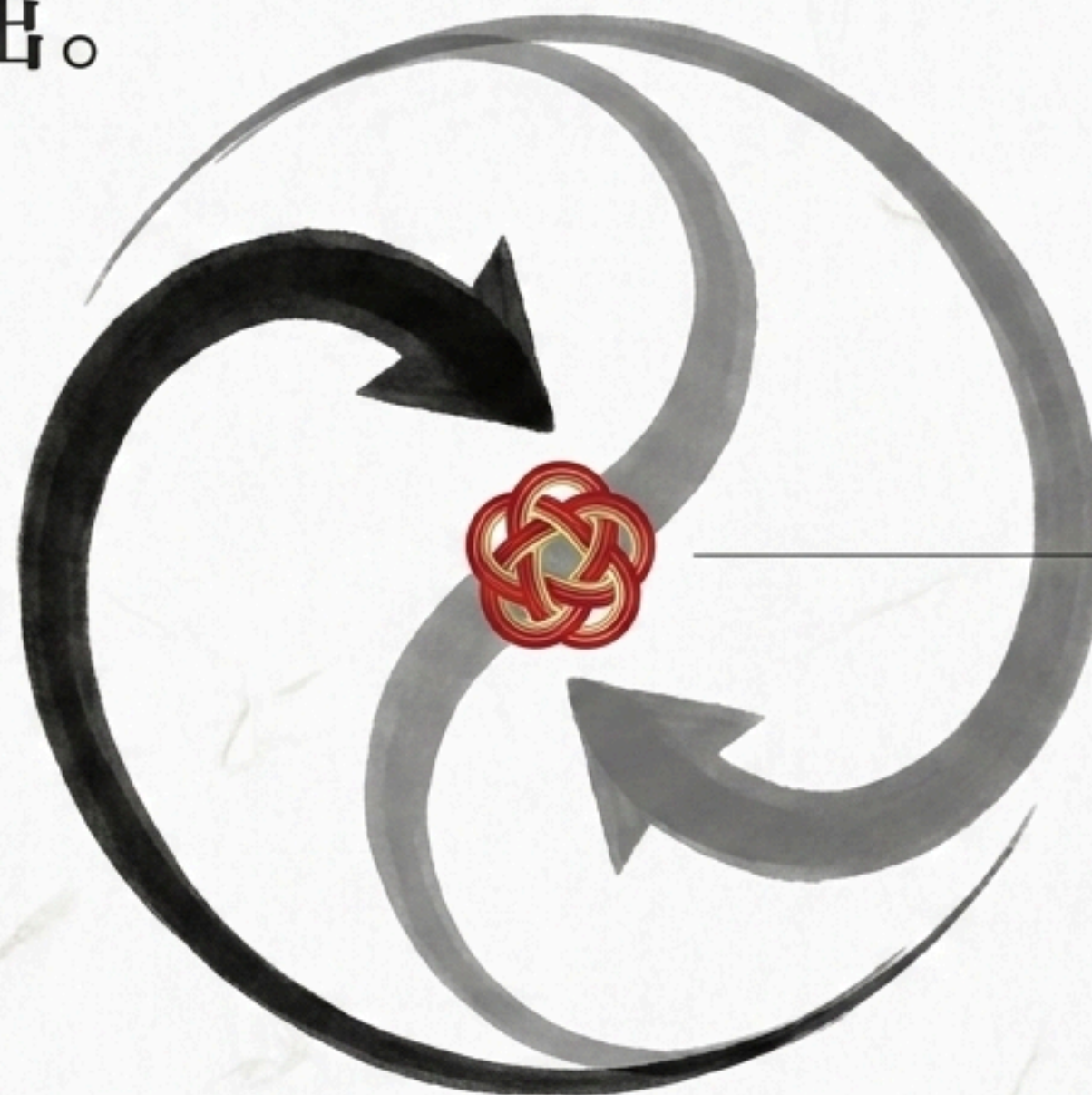
	【願望】（頭の中）	【現実】（目の前）
状態	注文を出しただけ。 思惑を持っているだけ。	異なるものが接触し、 均衡している。
アクション	どれだけ考えても、 どれだけ準備しても 「未成立」。	一つの現象として 「成立」する。

ここに絶対的な事実がある。
成立したもののだけが現実になる。

武の世界における 「合気」という理屈。

Callout 1

相手の「力」がある。



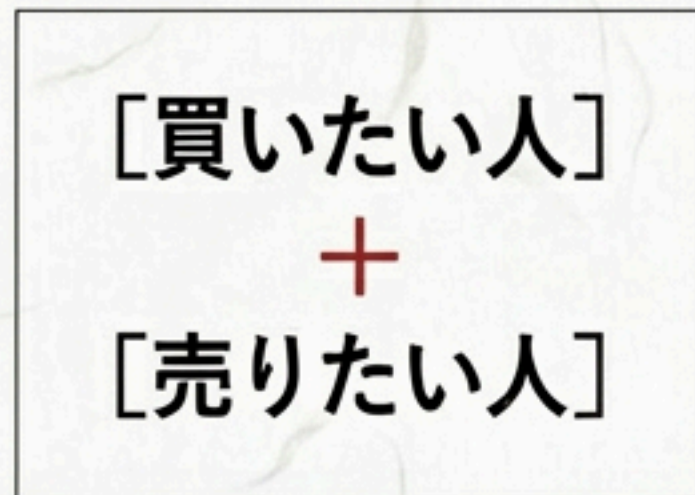
Callout 2

そこに「流れ」が生まれ、
「結び」が発生する。

どちらか一方だけでは成立しません。相手が存在して初めて、力が交わり一つの現象となります。
これは金融市場における「売りと買い」と全く同じ構造です。

価格は「結果」であり、
約定が「原因」である。

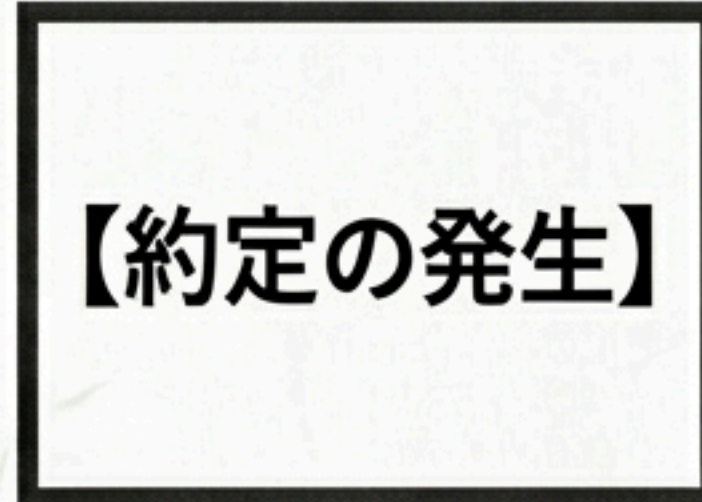
Callout 1



ぶつかり、一致する



Callout 2

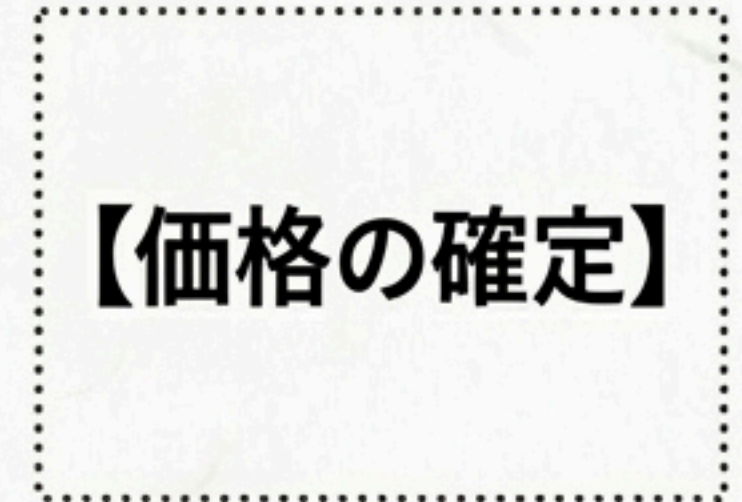


(原因)

結果として



Callout 3



(結果)

多くの方は「この価格で買いたい」と考えます。
しかし、それは単なる願望に過ぎません。
現実とは違います。

「その価格で反対側（相手）がいるかどうか」
これがすべてです。約定とは常に一対一の接触によってのみ成立します。

含み益の幻影と、 現実化の条件。



含み益は、まだ現実ではない。
評価損益は、単なる途中経過に過ぎない。



約定（結び）がなければ、利益は存在しない。
約定して初めて、利益も損失も「確定」する。

TAOISMでは、結びを「現実化の条件」と呼びます。

実践：結びを扱う ための3つの原則

【一】

願望で判断しない

(自分の「こうあってほしい」を捨てる)

【二】

反対側の存在を常に意識する

(相手がいなければ結びは生まれない)

【三】

成立する条件を見極める

(どこで均衡するかを観察する)

投資行動における「結び」のマネジメント

エントリー

利確

損切り

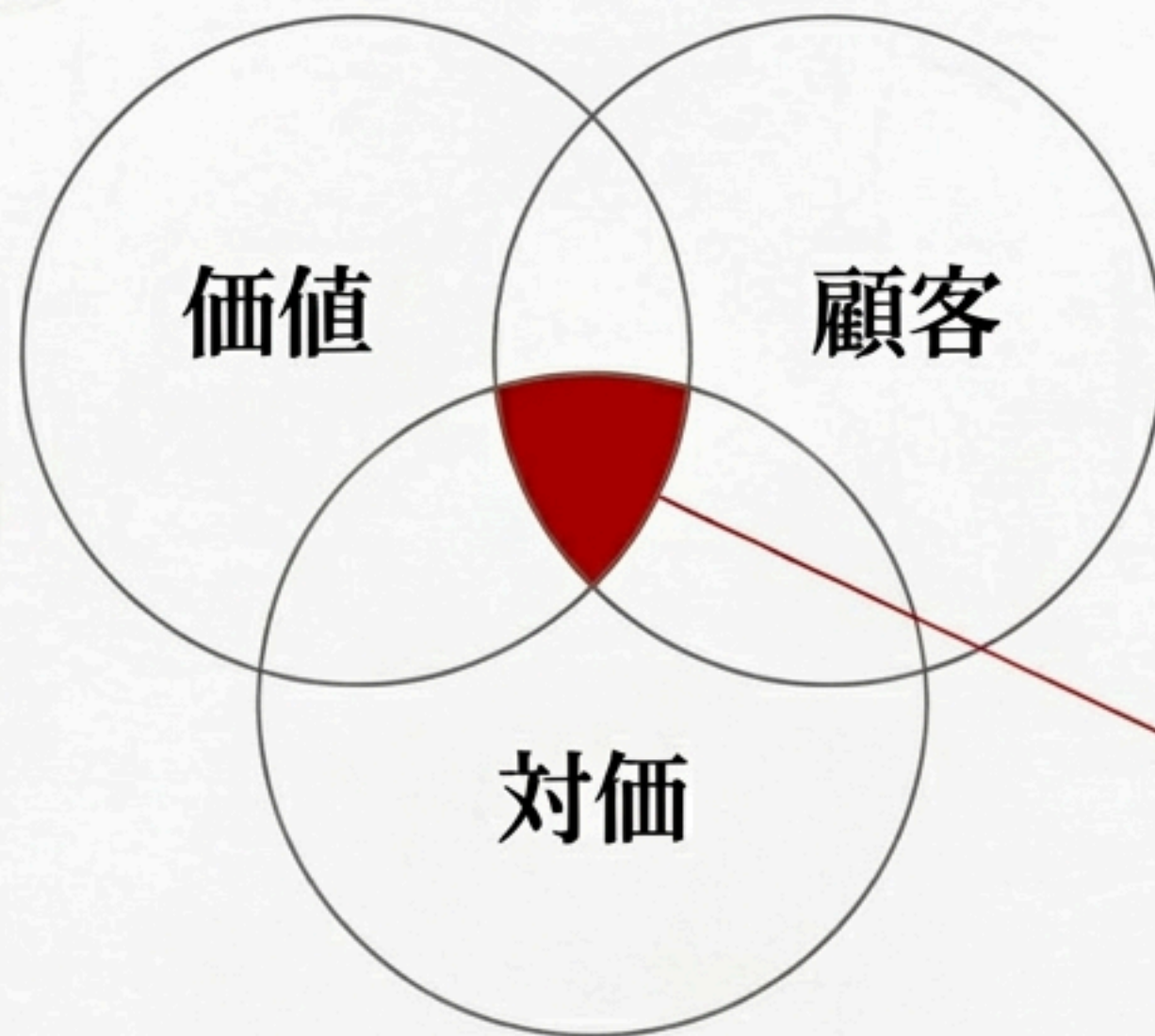


結びの位置を「待つ」。
思惑で飛び込まず、
需要と供給が交わる点を見極める。

現実化のタイミングを
「逃さない」。
含み益という幻を、約定
によって現実に変える。

成立しなかった前提を
「認める」。
自分の願望が市場と結ばれ
なかった事実を受け入れる。

どれだけ良いものでも、
結ばれなければ存在しない。



ビジネスにおける
「成立」の瞬間。

価値を提供するだけでは不十分です。顧客のニーズと完全に一致し、対価が支払われて初めて、
ビジネスは現実のものとして成立します。一方通行の提供は、まだ願望の域を出ていません。

人は慢心し、理解したつもりになり、現実を見なくなる。

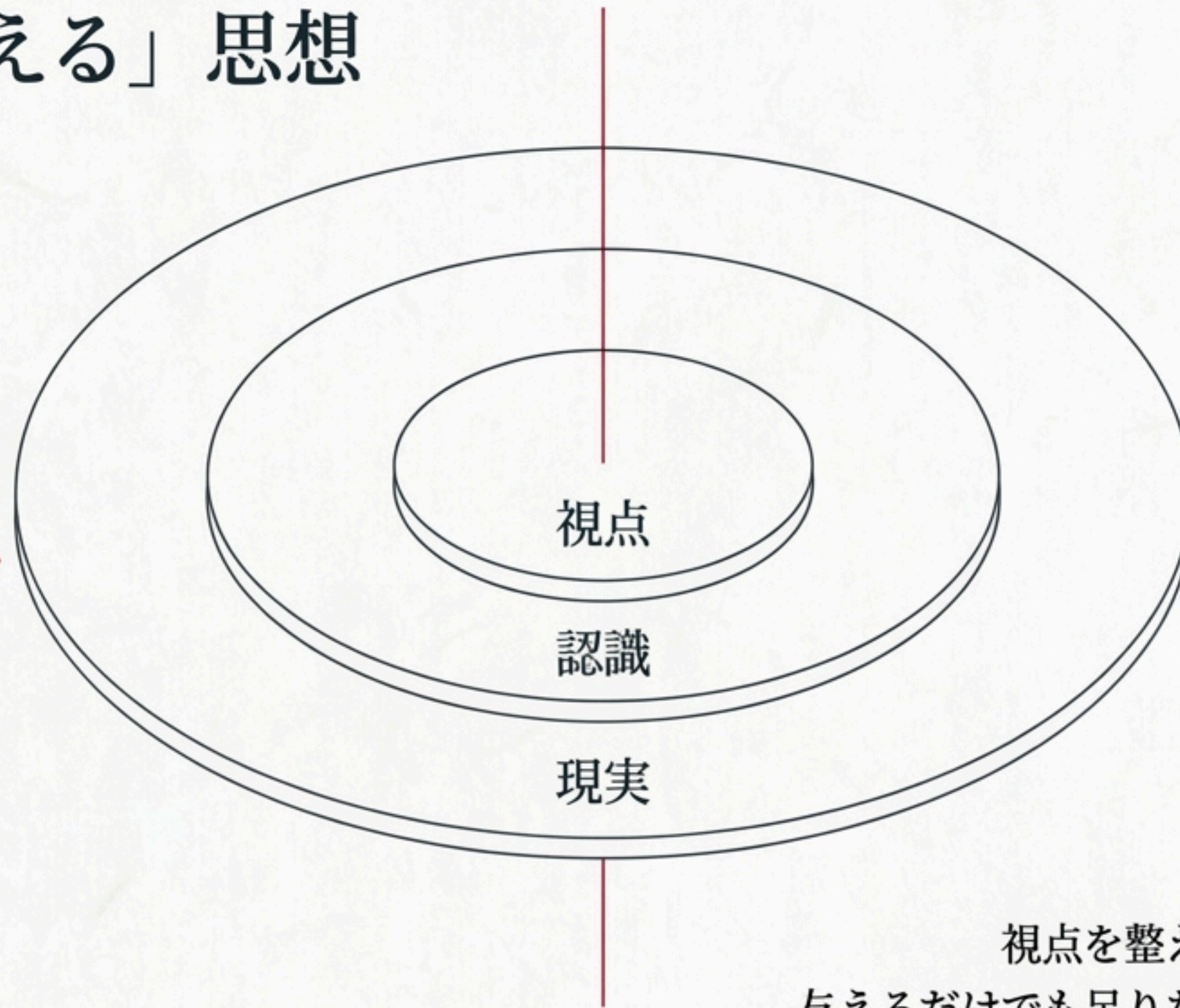
自分は今、「成立」を見ているだろうか。
それとも、「願望」を見ていないだろうか。
それとも、「願望」を見ているだろうか。
それとも、「成立」を見ているだろうか。

現実には常にシンプルです。結ばれたかどうか。それだけです。



TAOISMの教え： すべてを「整える」思想

- ・本質を見抜く
- ・理屈を理解する
- ・徳を磨き、共同体と共に歩む



TAOISMは整える思想です。
視点を整え、認識を整え、現実を整える。
与えるだけでも足りない。求めるだけでも足りない。
結ばれて初めて価値になります。

あなたは今、結ばれているか。
それとも、まだ願っているだけか。

すべては「結び」から始まる。